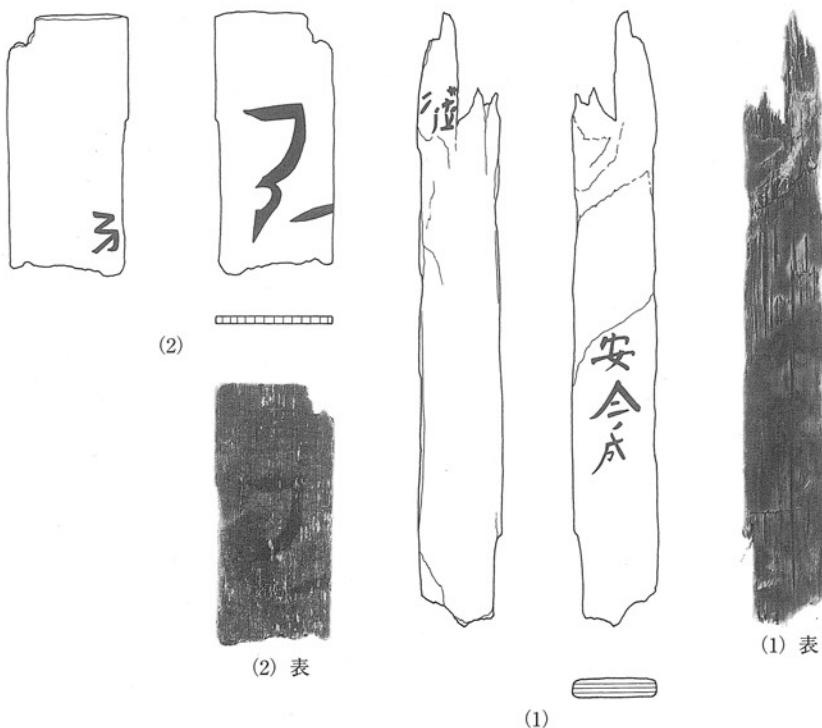


2002年出土の木簡



紫香楽宮跡調査委員会編・信楽町教育委員会発行

『宮町遺跡出土木簡概報』二の刊行

このたび『宮町遺跡出土木簡概報』の第二冊が刊行の運びとなつた。今回は、一九九七年の第二二次調査から、一九九九年の第二五次調査までに出土した木簡四〇三〇点を対象とし、このうち訛読可能な一七六点を収録する。

宮町遺跡は、信楽町教育委員会が実施している継続的な発掘調査によつて、紫香楽宮跡であることが確定している。近年では長大な朝堂の発見などその中枢部の様相が徐々に明らかになりつつある。出土した木簡の点数も今回まで既に七一〇〇点に達し、全国有数の木簡出土遺跡の一つとなつた。平城宮・京の木簡との類似点とともに、荷札や削屑が多く、二次的に整形されたものが多いなどの特徴も明らかになりつつある。

A四版二四頁、巻頭図版三葉、二〇〇三年三月刊行

価額一〇〇〇円（送料込み）

問い合わせ先

信楽町教育委員会宮町遺跡調査事務所鈴木良章氏宛

電話 ○七四八一八三一九一九（FAX兼用）